

## 学校行事参加型＋体験活動参加型（小学校）

学校名等	揖斐川町立春日小学校
実施日時	令和元年12月6日（金）
会場	春日小学校 体育館
参加人数	全校児童及び保護者、教職員、地域の方、しめ縄づくり講師（計28名）
学習課題（分野）	ふるさと春日で心豊かに学ぶ児童を育てる春日コミュニティ（学校＝家庭＝地域）を活かした活動のあり方
運営者の願い	本校は、豊かな自然に恵まれ、貝原棚田での米づくりや稲刈り体験等、学校や地域、保護者と一体（春日コミュニティ）となった独自性のある教育が展開できるというよさがある。そのよさを活かし、キャリア教育と結んだふるさと教育を推進していくことで、「ふるさと春日で心豊かに学び、未来を切り開く児童」を育てていきたいと考えている。米づくり体験活動の最後の活動として、藁を使った親子でしめ縄づくりを行う。収穫したお米で児童が作ったおにぎりを地域の方や保護者と一緒に食べながら、親子で触れ合う時間を多くもつことを大切にしたいと考えている。

## 学 習 の 内 容

## &lt;稲刈り・しめ縄づくり準備までの取組&gt;

稲刈りまでの作業を行うにあたり、グリーンネット揖斐（農協）やサンシャイン春日、揖斐農林事務所、春日公民館長、保護者と連携を図り、児童への指導や事前の準備、当日の手伝い等でお世話になっている。地域の力なくしてこの活動の継続は難しい。

しめ縄づくりの前の11月29日に母親・家庭教育学級委員の保護者が集まり、準備を行った。作業内容は、

- (1) 稲穂の部分を取る・
- (2) しめ縄を作りやすい太さにして針金で束ねる。
- (3) 根元をはさみで切って揃える。

である。また、当日、柚子茶も振舞われるため、その準備も行っていた。会を開催するにあたり、保護者の力も大きい。

## &lt;当日の流れ&gt; 12/6 13:30～16:10

- ①きらきらハッピー集会（人権集会）  
講演会「だいじょうぶ だいじょうぶ みんなだいすきだから」後藤 政幸 様
- ②米づくり感謝の会  
米づくりにあたり、準備や管理、ご指導でお世話になったグリーンネットいび等、6名の方を招待して、児童が収穫した米で作ったおにぎりを渡し、感謝の気持ちを伝えた。
- ③しめ縄づくり  
藁を活用して、中瀬地区の仲野様からしめ縄の作り方を教えていただいた。保護者や児童、職員だけでなく、揖斐農林事務所の方も参加してくださった。

人権集会という学校行事とタイアップさせていく等、8名という少ないPTA会員であっても、できるだけ保護者に負担をかけずに有効な取組ができるように改善していくことが、本校の今後の課題である。



地域の講師さんよりご指導をいただく。



笑顔いっぱいのしめ縄づくり

保護者により柚子茶の振舞い  
～身体だけでなく心も温まる～

## &lt;豊かな自然を活かした体験活動&gt;

春日地区には、面積3.5haの300年以上前の江戸時代中期に開墾された貝原棚田がある。この棚田は、「ぎふの棚田21選」にも認定されており、春日小学校では、この豊かな自然を活かした活動が年間を通して位置付いている。全校児童10名の学校だからこそ、「ふるさと春日で心豊かに学び、未来を切り開く児童の育成」を地域や保護者と一体となって進めていくことが必要であると考える。



## &lt;一貫した春日小の特色ある教育活動&gt;

一般的にどの学校も田植えや稲刈りの活動は行っているが、春日小では、稲刈りで終わらず、児童が、米づくりでお世話になった方たちに、育てた稲の米を使っておにぎりを作り、12月の「感謝の会」でプレゼントをする取組がある。また、その後、藁を活用して、講師の指導のもと、しめ縄づくりを保護者と一緒に行う。自分たちが植えた稲が生長し、その収穫の喜びと感謝の気持ちをおにぎりやしめ縄づくりを通して、児童は、さらに実感することができる。



## &lt;春日コミュニティの中で心豊かに育つ児童&gt;

貝原棚田の米づくりや稲刈り、おにぎり、しめ縄づくり等、常に保護者や地域の方が児童に寄り添って活動することで、ふるさと春日に親しみ、春日のよさを実感することができる児童を育てることができる。